

令和6年度

運営に関する計画 中間評価



令和6年10月

大阪市立塩草立葉小学校

1 学校運営の中期目標

現状と課題

本校は、学校教育目標「共に学び、共に生きる子どもを育てる」～自分も人も大切にする～のもと、人権尊重を基盤とした教育活動を推進している。

統合から11年目。児童数は、統合時の241名から528名に急増している。中規模校になるにともない、さまざまな業務の見直しを進めていく必要がある。

また、増加している外国人児童や特別支援学級在籍児童への支援、多様性教育推進などを通じて、すべての子どもが健やかに成長するよう、全教育活動を通して取り組んでいる。

中期目標(令和4年度から令和7年度までの4年間で達成をめざす成果目標)**【最重要目標1 安全・安心な教育の推進】**

- ①大阪市小学校学力経年調査（3～6年、以下 経年調査）における「いじめは、どんな理由があってもいけないことだと思いますか」に対して、最も肯定的な「思う」と回答する児童の割合を73%以上にする。

→R4は、74.8%。R5は、73.3%

- ②大阪市小学校学力経年調査（3～6年、以下 経年調査）における「自分にはよいところがあると思いますか」に対して、肯定的に回答する児童の割合を75%以上にする。

→R4は、78.6%。R5は、77.6%

【最重要目標2 未来を切り拓く学力・体力の向上】

- ①大阪市小学校学力経年調査における、算数の平均正答率の対全国比を、同一母集団において経年的に比較し、いずれの学年も前年度より0.1ポイント向上させる。

(令和4年度の対全国比→令和5年度の対全国比)

算数 現6年 0.98→0.97

現5年 0.98→0.95

現4年 1.00→0.92

現3年 4年度なし→0.93

- ②大阪市小学校学力経年調査における「運動（体を動かす遊びを含む）やスポーツをすることは好きですか」に対して、最も肯定的な「好き」と回答する割合を65%以上にする。

→R4は、68.9%。R5は、62.6%

【最重要目標3 学びを支える教育環境の充実】

- ①授業日において、児童の8割以上が学習者用端末を活用した日数が、年間授業日の50%以上にする。〔事務局が定める学校行事等 ICT 活用が適さない日数を除く〕

→今年度初めての目標設定

- ②教員ひとり当たりの月別の時間外勤務時間平均を大阪市平均より減少させる。

→R4、R5とも大阪市平均を下回り、達成した

2 中期目標の達成に向けた年度目標（全市共通目標を含む）

【最重要目標1 安全・安心な教育の推進】

- ①大阪市小学校学力経年調査（3～6年、以下 経年調査）における「いじめは、どんな理由があってもいけないことだと思いますか」に対して、最も肯定的な「そう思う」と回答する児童の割合を73%以上にする。
- ②大阪市小学校学力経年調査（3～6年、以下 経年調査）における「自分にはよいところがあると思いますか」に対して、肯定的に回答する児童の割合を75%以上にする。

【最重要目標2 未来を切り拓く学力・体力の向上】

- ①大阪市小学校学力経年調査における、算数の平均正答率の対全国比を、同一母集団において経年的に比較し、いずれの学年も前年度より0.1ポイント向上させる。
- ②大阪市小学校学力経年調査における「運動（体を動かす遊びを含む）やスポーツをすることは好きですか」に対して、最も肯定的な「好き」と回答する割合を65%以上にする。

【最重要目標3 学びを支える教育環境の充実】

- ①授業日において、児童の8割以上が学習者用端末を活用した日数が、年間授業日の50%以上にする。〔事務局が定める学校行事等 ICT 活用が適さない日数を除く〕
- ②教員ひとり当たりの月別の時間外勤務時間平均を大阪市平均より減少させる。

3 本年度の自己評価結果の総括

令和6年度 運営に関する計画・自己評価（目標別シート）

大阪市立塩草立葉小学校

評価基準	A：目標を上回って達成した C：取り組んだが目標を達成できなかった	B：目標どおりに達成した D：ほとんど取り組めず目標も達成できなかった
------	--------------------------------------	--

年度目標	達成状況
【最重要目標1 安全・安心な教育の推進】 ①大阪市小学校学力経年調査（3～6年、以下 経年調査）における「いじめは、どんな理由があってもいけないことだと思いますか」に対して、最も肯定的な「そう思う」と回答する児童の割合を73%以上にする。 ②大阪市小学校学力経年調査（3～6年、以下 経年調査）における「自分にはよいところがあると思いますか」に対して、肯定的に回答する児童の割合を75%以上にする。	B

年度目標の達成に向けた取組内容、取組の進捗状況を測る指標		進捗 状況
取組内容①【基本的な方向1 安全・安心な教育環境の実現】 ○いじめの未然防止と早期発見、早期対応をすすめる。		B
指標 ・5月「いじめ（いのち）について考える日」に、全学級でいじめ防止に取り組む。 ・いじめ事象を共有し、解決に向けて組織的に取り組む。 ・学期に1回以上、全学級でいじめについて実態調査を行い、早期発見に努める。		
取組内容②【基本的な方向2 豊かな心の育成】 ○自分や友だちの良さを認め合う取り組みを通して、自尊感情を高める。		B
指標 ・児童会のたてわり班活動や委員会活動で交流を工夫する。 ・自分や友だちの良さに気づき、一人一人を大切にする人権教育を充実させる。		
年度目標の達成状況や取組の進捗状況の結果と分析		
取組内容① ・指標に沿って計画的に取り組んでいる。いじめアンケートなどを通して児童が教員に相談しやすく、それが安心感につながっている。 ・「いじめ(いのち)について考える日」をはじめ、学級活動などでも自分も人も大切にする力を育む機会を各学級で設定している。 ・児童が自分の気持ちを正しく言語化できるよう支援することで、相手と互いの気持ちを交流できる場を持てるようにし、「かくれいじめ(いじめられ)」を防ぐようにしている。 ・全教職員でその都度情報を共有しており、いじめ事象やトラブルの早期発見・対応につなげやすい環境ができている。		

<p>取組内容②</p> <ul style="list-style-type: none"> ・今年度は室内での活動を取り入れ、たてわり班活動の機会を増やしている。異学年との交流では、児童が互いの理解を深めながら相手を思いやる姿が見られている。 ・なかよし学級でも、「なかよしタイム」の時間などで異学年交流を行っている。児童が役割を発揮する場面や良いところ、できたところを認める声掛けをすることで、別の活動でも他の児童に教えようとする姿や、難しい課題に直面した際に、「私ならできるよ」と自身に肯定的な言葉をかける姿が見られている。 ・ふだんの学級活動でも、自分や友だちの良さを見つけ伝えあう機会や一人一人が主役になれる活動を取り入れることで、互いの良さに気づくだけでなく自分の良さにも注目することができる、自分も含めて一人一人を大切にする環境づくりをしている。 ・もちあじを互いに認められるようなワークや体、心、性を大切にする学習、となりの国の学習など一人一人を大切にする人権学習を行っている。
<p>次年度への改善点</p>
<p>取組内容①</p> <ul style="list-style-type: none"> ・引き続き取り組んでいく。 ・「いじめ(いのち)について考える日」では、学年ごとに系統立てた指導を行う。 <p>取組内容②</p> <ul style="list-style-type: none"> ・異学年交流の機会が増えてきている。しかし、児童数が多いため、全体で集まることやまとめる高学年が大変そうである。 ・たてわり班活動について、夏場の活動内容、時間の短さ、遅刻児童の多さなど、改善が必要。

令和6年度 運営に関する計画・自己評価（目標別シート）

大阪市立塩草立葉小学校

評価基準	A：目標を上回って達成した C：取り組んだが目標を達成できなかった	B：目標どおりに達成した D：ほとんど取り組めず目標も達成できなかった
------	--------------------------------------	--

年度目標		達成 状況
【最重要目標2 未来を切り拓く学力・体力の向上】		—
①大阪市小学校学力経年調査における、算数の平均正答率の対全国比を、同一母集団において経年的に比較し、いずれの学年も前年度より0.1ポイント向上させる。		
②大阪市小学校学力経年調査における「運動（体を動かす遊びを含む）やスポーツをすることは好きですか」に対して、最も肯定的な「好き」と回答する児童の割合を65%以上にする。		
年度目標の達成に向けた取組内容、取組の進捗状況を測る指標		進捗 状況
取組内容①		B
【基本的な方向4 誰一人取り残さない学力の向上】 ○自分の思いや考えを表現する子どもを育てる。 ○教員の指導力向上をすすめる。		
指標		B
・全学級で、話し合い活動を1日1回以上実施する。 ・全学級で、週に1回算数の朝学習に取り組む。 ・3～6年生において、年1単元以上総合的読解力育成カリキュラムに取り組む。 ・全教員が、年1回以上公開授業を行う。 ・区役所の教育活動支援事業を活用する。 日本語サポーター、液晶ディスプレイ、漢字検定3年（目標合格率65%）		
取組内容②【基本的な方向5 健やかな体の育成】		B
○運動に親しむ機会を設ける。		
指標		B
・体力向上に関する取り組みを行う。（シナプソロジーなど） ・外部講師による特別授業を行う。（「夢・授業」や出前授業など）		
年度目標の達成状況や取組の進捗状況の結果と分析		
取組内容①		
・児童の実態に応じた方法で話し合い活動を各学級で取り組んでいる。 ・週1回、研究部が配付したプリントなどで算数科の朝学習に取り組んでいる。 ・総合的読解力育成カリキュラムは、2学期以降、3～6年生で取り組みを進めている。 ・公開授業については、各教員が計画通り実施している。 ・区役所の教育活動支援事業を活用している。漢字検定は11月8日に予定している。 →目標合格率达到した。83.6%		

5

取組内容②

- ・シナプソロジー研修を行ったり、体育の授業でカードを使用したり、準備運動を工夫したりするなど、体力向上に取り組んでいる。
- ・外部講師による出前授業（１１月）を予定している。
- ・今後、なわとびによる体力向上の取り組み（なわとびカードの配付やなわとび台の設置）を進めていく。

次年度への改善点

取組内容①

- ・液晶ディスプレイの台数を確保するため、今後も購入を進めていく。

取組内容②

- ・環境面（暑さ指数による運動制限や運動場の狭さ）により運動に親しむ機会を増やすことが困難なため、体育科のカリキュラムの検討を行う。

評価基準	A：目標を上回って達成した C：取り組んだが目標を達成できなかった	B：目標どおりに達成した D：ほとんど取り組めず目標も達成できなかった
------	--------------------------------------	--

年度目標	達成 状況
【最重要目標3 学びを支える教育環境の充実】 ①授業日において、児童の8割以上が学習者用端末を活用した日数が、年間授業日の50%以上にする。〔事務局が定める学校行事等ICT活用が適さない日数を除く〕 ②教員ひとり当たりの月別の時間外勤務時間平均を <u>大阪市平均より減少させる。</u>	B

年度目標の達成に向けた取組内容、取組の進捗状況を測る指標	進捗 状況
取組内容①【基本的な方向6 教育DX(デジタルトランスフォーメーション)の推進】 ○学習者用端末に親しむ機会を設ける 指標 ・デジタル教材の活用をすすめる。 ・朝学習でデジタルドリル(ナビマ)を活用する。	B
取組内容②【基本的な方向7 人材の確保・育成としなやかな組織づくり】 ○教員の過重労働を抑制する。 指標 ・業務内容の改善、見直しを進める。 ・ゆとりの日を週1回設ける。	B

年度目標の達成状況や取組の進捗状況の結果と分析
取組内容① ○ナビマの活用機会の増加。(家庭や隙間時間などに) ○持ち帰りによる利用機会の増加。 ○Teams で音読アプリの活用。 △依存気味の子どももいる。 △朝学習に活用できていない。 △家庭との連携が不可欠。 △夏休みのパソコンの不都合で課題もあった。 △持ってこない児童が多数いる。 取組内容② ・おおむね取り組んでいる。 ・5・6年生の教員の空き時間が多く、負担軽減ができています。 ・2学期の行事の詰まりを解消しようと今年度見直したが1学期が忙しかった。 ・働き方改革アンケートで改善への取り組みを進めている。

次年度への改善点

取組内容①

- ・情報モラル教育(依存気味の子どももいるので)。
- ・学校としての最低限度のルールの一(教務部で)
- ・朝学習へナビマ活用を全校、研究部と相談。
- ・パソコンの持ち帰りを始めた初年度なので反省材料を集め、必要に応じて部会で話し合う。

取組内容②

- ・2学期の行事の詰まりを解消しようと今年度見直したが1学期が忙しかった。という意見があったので次年度への反省材料として話し合いの場を設ける。